

北海道大学シラバス

■ 科目名[英文名]

実験社会科学入門 Introduction to Experimental Research in Social Sciences

■ 講義題目

■ 責任教員[ローマ字表記](所属)

山岸 俊男[Toshio YAMAGISHI](文学研究科)

■ 担当教員[ローマ字表記](所属)

山岸 俊男[Toshio YAMAGISHI](文学研究科)
品 田 瑞穂[Mizuho SHINADA](社会科学実験研究センター)

■ 科目種別	大学院共通授業科目			■ 他学部履修等の可否	可
■ 開講年度	2010	■ 開講学期	1学期	■ 時間割番号	101014
■ 授業形態	講義	■ 単位数	2	■ 対象年次	~
■ 対象学科・クラス				■ 補足事項	代表教員内線番号 3056

■ 授業の目標

社会科学の研究では、実験を通じて、ある制度や人間性に関する理論モデルの妥当性を評価し、そしてその結果をもとにさらにそのモデルを洗練していく。このような仮説の生成と検証過程について、実験法に関する入門書、実証実験をもとにした研究論文、および体験実験を通じ、社会科学実験の意義についてわかりやすく解説する。また、社会科学における実験研究の進展は、同じ人間を扱いながらこれまであまり交流がなされてこなかった心の科学(心理学、認知科学、脳神経科学、内分泌学など)と社会科学を結びつける動きについて議論する。

■ 到達目標

社会科学の研究における実験の必要性についての一般的認識を得る
社会科学実験の計画法について学ぶ

■ 授業計画

- ・社会科学の実験法に関する入門書を用い、実験の重要性に関して講義する。
- ・代表的な研究論文をいくつか取り上げて、それを講読し、そこにおける実験の意義について討論する
- ・実際に社会科学実験を体験する

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

毎週、事前に配布される論文に目を通し、議論するポイントを明らかにしておくこと

■ 成績評価の基準と方法

授業への参加、1～2回の発表、および期末レポートによって評価する

■ テキスト・教科書

清水和巳・河野勝編著『入門・政治経済学方法論』（東洋経済新報社）、Friedman & Sunder 著、川越敏司ほか訳『実験経済学の原理と方法』（同文館） など

■ 参照ホームページ

<http://lynx.let.hokudai.ac.jp/cerss/>